

令和5年上尾市教育委員会1月定例会 会議録

- 1 日 時 令和5年1月25日（水曜日）
開会 午前9時00分
閉会 午前10時04分
- 2 場 所 上尾市役所 7階教育委員室
- 3 出席委員 教育長 西倉剛
教育長職務代理者 大塚崇行
委員 内田みどり
委員 小池智司
委員 谷島大
委員 矢野誠二
- 4 出席職員 教育総務部長 小田川史明
教育総務部次長 清水千絵
学校教育部長 太田光登
学校教育部次長 加藤浩章
学校教育部副参事 兼 学務課長 田中栄次郎
学校教育部副参事 兼 指導課長 兼 教育センター所長 瀧澤誠
教育総務部 教育総務課長 池田直隆
教育総務部 生涯学習課長 角田広高
教育総務部 図書館長 山内正博
教育総務部 スポーツ振興課長 柳川忠明
学校教育部 学校保健課長 松木ヒロシ
学校教育部 中学校給食共同調理場所長 小林正和
書記 教育総務課副主幹 上山英樹
教育総務課主査 田中輝夫
教育総務課主事 齋藤文香
- 5 傍聴人 5人

6 日程及び審議結果

日程第1 開会の宣告

日程第2 12月定例会会議録の承認

日程第3 会議録署名委員の指名

日程第4 協議

協議1 上尾市小中一貫教育基本方針(素案)について

日程第5 報告事項

報告事項1 令和4年上尾市議会12月定例会について

報告事項2 令和5年上尾市二十歳のつどいの結果について

報告事項3 第41回上尾市民駅伝競走大会の開催について

報告事項4 令和4年度上尾市立小・中学校卒業証書授与式について

報告事項5 令和4年12月 いじめに関する状況について

日程第6 今後の日程報告

日程第7 閉会の宣告

7 会議録

日程第1 開会の宣告

(西倉剛 教育長) ただ今から、令和5年上尾市教育委員会1月定例会を開会いたします。本日は、傍聴の申出はございますか。

(池田直隆 教育総務課長) 5人の方から傍聴の申出がございます。教育長の許可をお願いいたします。

(西倉剛 教育長) 傍聴を許可いたします。ご案内をお願いします。

～傍聴人入場～

(西倉剛 教育長) 傍聴者の皆様に申し上げます。傍聴にあたっての注意事項を傍聴券の裏面に記載しておりますので、お読みいただき会議の進行にご協力をいただきますようお願い申し上げます。

日程第2 12月定例会会議録の承認

(西倉剛 教育長) 続いて、「日程第2 12月定例会会議録の承認」についてでございます。12月定例会会議録につきましては、既にお配りして、確認していただいております。修正等がございましたらお伺いしたいと存じますが、いかがでしょうか。

～委員全員から「なし」の声～

(西倉剛 教育長) それでは、承認することにご異議ございませんか。

～委員全員から「異議なし」の声～

(西倉剛 教育長) 異議ないものと認め、12月定例会会議録につきましては、谷島委員にご署名いただき、会議録とします。

日程第3 会議録署名委員の指名

(西倉剛 教育長) 続いて、「日程第3 会議録署名委員の指名」を行います。本定例会の会議録署名委員は、矢野委員をお願いいたします。よろしくをお願いいたします。

(矢野誠二 委員) はい。

日程第4 協議

(西倉剛 教育長) 続きまして、「日程第4 協議」です。本日予定しております協議事項は、1件でございます。それでは、協議事項1について、説明をお願いします。

(太田光登 学校教育部長) 協議事項1につきましては、瀧澤指導課長より、ご説明申し上げます。

(瀧澤誠 指導課長) 「協議事項1 上尾市小中一貫教育基本方針(素案)について」でございます。別

冊の資料を御用意ください。指導課では、「上尾市小中一貫教育基本方針」を令和5年3月に策定するための検討をしており、前回の12月定例会において、その骨子案について御協議いただきました。その際の御意見等を受けまして、本日はその素案をまとめましたので、ご説明させていただきます。

資料の2ページをご覧ください。はじめに、方針策定の背景及び目的でございます。10ページにわたり、ア～キの7点で構成しております。アの「小中一貫教育が求められる背景」につきましては、県の資料を一部抜粋いたしまして、全国的に見られる課題や埼玉県に見られる課題について記載しております。

続いて、資料の4ページをご覧ください。イでは、「小中連携教育が進められてきた背景」を、ウでは「小中一貫教育に関する国の動向」について記載いたしました。イでは、これまで進められてきた小中連携教育の定義等を記載するとともに、実施イメージを図で表記しております。

続いて、資料の6ページをご覧ください。エでは、「上尾市における小学校から中学校への接続の課題」を、令和3年度の学年別不登校児童生徒数と、全国学力学習状況調査の質問紙調査の2つのデータをもとに示しております。オでは「上尾市におけるこれまでの小中連携の取組と課題」について、主な取組の内容及び現状における課題、それらを踏まえた9年間を見通した系統性・連続性のある小中一貫教育の充実に向けた取組の必要性について示しております。

続いて、9ページをご覧ください。カでは、現行の「第3期上尾市教育振興基本計画」の施策展開において、「各学校種間の連携と小中一貫に向けた教育の推進」が位置付けられ、小中一貫を見据えた教育課程の編成や各学校種間の連携・協力を推進していくことについて示しております。キでは、「子供たちのための新しい学校づくりに関するアンケート」において、小中一貫教育に関する質問の回答状況をグラフ化して示しました。アンケート結果から、どの調査対象においても、小中一貫教育に対する肯定的な回答が多くを占めております。

以上を踏まえまして、「上尾市が目指す小中一貫教育のイメージ」とともに、方針策定の目的をまとめたものが、11ページでございます。メインコンセプトは、骨子案と変わらず、上段の赤い字で『「連携」から「一貫」へ』でございます。先程も申しました小・中学校の接続期に見られる課題につきまして、本市としましては、中1の時に突然起こる問題ではなく、小学校段階からの学習や生活における課題にも起因することが多い問題であると捉えております。そして、その解決のためには、小・中学校相互で9年間の子供の学習や生活、発達等の諸課題を理解・共有した上での教育活動を展開、充実させていくことが重要であると考えております。そこで、『「連携」から「一貫」へ』をメインコンセプトとしまして、これまで主に小6・中1の接続期の取組に焦点が当たっていた「小中連携」の取組の成果と課題を踏まえ、子供達の9年間全体を見通した系統性・連続性のある小中一貫教育に深化させていくことといたしました。

続いて、12ページをご覧ください。「2 上尾市小中一貫教育基本方針」でございます。(1)の目的は、既存の小中連携の取組を生かして、「9年間を見通した系統性・連続性のある小中一貫教育を充実させ、児童生徒の『生きる力』を育成する。」こととし、(2)では、小中一貫教育基本方針の中身として、①小中一貫教育に係る目標の設定、②学びの連続性を確保するための教育課程・指導形態の工夫改善、③教育活動における連続性の確保、④教職員による連携・協働、⑤家庭・地域との連携・協力の5点を柱としました。(3)の小中一貫教育の実施により期待される効果として、①学力の向上、②中学校進学に対する不安の解消や進学への期待感の高まり、③教職員の指導力の向上、④開かれた学校による豊かな人間性や社会性の育成の4点を記載いたしました。

続いて、15ページをご覧ください。「3 小中一貫教育の推進体制」については、(1)「全小・中学校における推進体制の構築」として、「上尾市における小学校から中学校への進学の類型図」とともに、連携する中学校区の基本単位一覧を示しました。なお、本市は1つの小学校から複数の中

学校に分かれて進学する場合がありますので、その場合は、関連する中学校間で連絡調整をしながら交流ができるよう配慮する旨も示しました。(2)では、「上尾市全体で進める小中一貫教育」を、アとイに分け、アの「全小・中学校で推進する取組」として、①小中一貫に係る目標の設定、②発達の段階に応じた継続した児童生徒理解、③保護者・地域への啓発及び理解・共有の促進の3つの柱を設定しています。イの「中学校区の特色を生かした取組」として、①教育の計画に関すること、②授業や児童生徒の活動に関すること、③保護者や地域との関わりに関することを、各中学校区で児童生徒の学びや育ちに関する課題等を共有しながら、地域の実情において、検討することを示しております。

続いて、18ページをご覧ください。(3)「上尾市教育委員会の取組」としましては、①小中一貫教育の理念等の周知や②推進組織の設置、③研究委嘱の実施を中心に取り組んでいくことを示しております。

続いて、19ページをご覧ください。「4 小中一貫教育の評価・検証」につきましては、各校における取組を、各学校の「学校評価」や「学校運営協議会での熟議」等を活用して、適切に評価・検証し、取組の充実に向けていくことを示しております。

続いて、20ページをご覧ください。最後に、「5 立地に応じた小中一貫教育」についてです。小中一貫教育の核となるのは、「義務教育9年間を見通した目標の設定とその目標実現のための指導の一貫性」であり、小・中学校の教員が、共に子供の9年間の学びや育ちを切れ目なく支援することであり、また、小中一貫教育は、児童生徒及び教職員相互の理解や交流を充実させていくことで成果が生まれ、小・中学校の距離が縮まるほどそれが促進されていきます。これらの点を踏まえ、本市では、市内各地域における小中学校の立地状況が様々であることから、その状況に応じた児童生徒間・教職員間の距離を縮め、交流を活発化させる手立てを講じながら、最適な小中一貫教育の実現を目指していくことといたしました。

今後のスケジュールとしましては、本日の御協議を受けまして、再度精査し、3月の定例会において議案として提案させていただく予定でございます。説明は以上でございます。

(西倉剛 教育長) 協議事項1につきまして、説明いただきましたが、質疑、意見はございますか。

(矢野誠二 委員) この基本方針の素案は、小中一貫教育の背景と目的等が視覚的に見やすく、かつ、わかりやすい記述でまとめられていると思えました。前回12月定例会で、私は小中一貫教育の実現のためにはこれまで以上の小中連携が必要不可欠であることを述べました。小中連携についての課題解決には学校間の十分な協議を行うための時間と機会を必要とします。各小・中学校の教職員が余裕のない中、協力してその時間と機会を生み出して、知恵を出し合い、連携を深める時期に今あるのではないかと思っています。そこで改めての要望ですが、教員や保護者、市民の多くの方がアンケート結果からもわかるように、小中一貫教育を期待している状況ですので、ぜひとも今後これを進めていく中で形骸化することのないよう、教育委員会として、連携から一貫へどのように変換されたのか、例えば中1ギャップによる不登校生徒の減少が見られるというような教育効果が実感できるような今後推進する上での学校への指導や支援をお願いしたいと思います。現場としても多忙な中で、新たにこのような連携のための協議の時間を生み出すのは難しいかと思っています。また初めてのことになるいろいろな考えなければならないことや相談しなければならないことも多いかと思っていますので、教育委員会からのそのような働きかけを要望します。

(谷島大 委員) 前回の骨子案と比べまして、詳しい資料や説明等があり、また上尾市ならではの事情

にも踏み込まれていて、上尾市が目指す小中一貫教育がわかりやすくまとめられていると思いました。その上で2点申し上げます。1点目は、これまで長きにわたって小学校と中学校が別れて行われてきた教育を、連携はあったにしても一貫教育に移行していくに当たって、資料の記載にもありますが、保護者や地域への理解や連携が欠かせず、理念やイメージを共有していくことがとても大切になると思っています。これが例えば一律に義務教育学校や、あるいは施設一体型の小中一貫校にしますということであれば非常にわかりやすいのですが、この素案においては主にソフト面における小中一貫教育について書かれていて、理解が難しいのではないかというように感じました。そのことに関する周知への取り組みをしっかりとさせていただきたいということが1点目の要望として申し上げます。

続いて、1点目に関連もしますが、ソフト面についての説明が非常に多くありますが、ハード面についての形態などの今後の検討や展望についての記載が少なかったので、将来的な可能性も含めて、そのようは検討内容なども紹介されていた方がわかりやすいというように思いますので意見として申し上げます。

(小池智司 委員) 私も前回12月定例会の骨子案の段階から比べて、今回の素案では内容が進められて詳しくなってきたと思います。前回もお話しましたが、今までの小中連携のところから見えてきた課題とか成果を生かしながら、小中一貫教育という9年間を見通した指導に変えていくということは大変なことであると思っていますが、その中でも一番現場で子供達と接して指導を行っている教職員の先生方の意識を変えて、向上していかないと、なかなか進んでいかないのではないかと考えています。極端に言うと、今まで繋がりなかった小学校低学年を教えている教員の方と、中学校の教員の方との繋がりというのは、そのような機会として研修会や学校間で時間を作っていくと、なかなかうまく繋がっていかず、今回策定する基本方針がそれぞれ形骸化してしまうことにもなるので、教育委員会としても、各学校間で繋がる機会を指導しながら見守っていかなければいけないと思います。一つの小学校から異なる中学校へ行ったりすることもありますので、小学校間や中学校間の横の繋がり、もしくはそこに携わっていく学校間連絡協議会の中での繋がりなどを強化してお互いが同じ共通意識を持っていかないとうまくいかないと思っていますので、そういう機会を設けながら進めていくことが大事だと思っています。そのようなことをうまく調整することも含めて教育委員会の方から指導していくことを考えながら進めていかないといけないと思っています。今回は素案なので、今度の議案にする際には、そのことについてさらに研究をして、どのように取り組んでいくかを記載していただければと思います。

(内田みどり 委員) 問題点と感じたのは、資料の15ページに記載されている小学校から中学校への進学の種類図について、B類やC類のように一つの小学校の児童が二つの中学校に進学するという場合には、16ページの中学校区を定めたときにどのように対応するのかというところが一番の問題点になると思います。片方の学校の方針だけでやっていて別の中学校に行った際に方針や指導が違ふようになりますと、子供達に対してのデメリットとなりますので、具体的にどのように対応するかについて記載した方がよいと思います。

もう一点は、今後の課題になってくるところだと思っていますが、最終的には施設の一体型をどうするかということについてです。そのようにすれば、コスト面的にも安くなると思いますし、先生方の連携もしやすくなると思いますが、そのことによって、例えば学校が一つなくなってしまうたり、一つになってしまったりとなりますと、地域の方がどのように考えるのかということも重要になってくると思いますので、先を見据えて、一体型の施設や隣接型の施設の形についても、具体的なものも併せて記載があったほうがよいと思います。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 今回のこの素案で示された大きなところは、上尾市全体で行うところが示されているというように思っています。アンケートの中では、一部の小・中学校から始めるという意見が多いということがありましたが、そのような中で上尾市全体というところに舵を切ったということについて説明をお願いします。

(瀧澤誠 指導課長) その背景としましては、小・中学校9年間を捉えた上で子供達を育てていくことは、今般の学習指導要領や令和の日本型学校教育でも大事な視点になっていきますので、そのような意味で小中一貫教育というのは、限定的なものではなくて、全体で推進していくことが大事だと考えております。小・中学校でそれぞれ課題はあり、そして共通している部分も生徒指導上の問題も含めてございますので、全体として方針を検討しております。そのような背景でございます。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 目標や方針の設定などにおいて、地域ごとという考え方もあってそれもよいとは思いますが、今回は全体として上げようということでこのような方針を策定していくということで、あまり地域差が出るようなことがないようにということで一括した方針を上尾市として出していきたいというところを思っておりますので、この方針は全体でということでよいと思います。ぜひ進めていただきたいと思います。

懸念するところは、その地域差というところもありますが、その他にも教員の負担について、いろいろところで働き方改革が話題になっていて、この教員の負担がかかってくるというように思っていますが、その件に関して伺います。

(瀧澤誠 指導課長) 先生方の交流が必要になってきますので、現在、市内の小・中学校では、その中で工夫しながら、研修会を設けたりしてございます。その事例としましては、南中学校と鴨川小学校との共同事業ということで、中学校の教員が小学校に赴いて授業交流を3学期から始めています。その狙いとしましては、鴨川小学校6年生の児童がこのような中学生になりたいというような中学校の生活のイメージをしっかりと持ってもらいながら進学してもらいたいという思いがあるということです。その際の打ち合わせ等については、お互いの学校を行き来して行うこともありますが、それ以外にも、ちょっとした時間を使って、オンラインで画面を見ながら打ち合わせをしたり、オンラインでやりとりができるアプリによって、チャットや掲示板などを使いながら共有しているというような工夫もありましたので、これは他にも生かせるものであり、これから推進していく上で情報提供しながら、活用の研究をできればと考えております。

(大塚崇行 教育長職務代理者) そのようなICT機器の活用がコロナ禍でもかなり進みましたので、ぜひ活用していただきたいと思います。また、このアンケートの中で教員の方の8割が小中一貫教育に関して必要と思っているとのことですので、そのような部分で期待しているところでございます。

(西倉剛 教育長) ありがとうございます。その他ご意見、ご質問等はございますか。

(西倉剛 教育長) よろしいでしょうか。

～委員全員から「はい」の声～

(西倉剛 教育長) 質疑、意見をいただきましてありがとうございました。本日の協議事項に対しまして、いただきました意見等を反映させ、今後も検討を進めてまいりたいと思います。本日の協議事項は1件ですが、12月定例会において協議をいただいた学校施設更新計画基本計画について、今パブリックコメント等が行われております。この件について、説明をお願いします。

(池田直隆 教育総務課長) 本計画につきましては、1月30日を期限にパブリックコメントを実施するとともに、市内6地区において地域公聴会を実施しております。聴取した意見を取りまとめまして、検討を行ったうえで、教育委員会2月定例会において、意見を反映した計画案をお示しし、協議をお願いしたいと考えております。その後、庁内の調整を図ったうえで、3月定例会において議案を提出させていただき、審議及び決定をいただきたいと考えております。説明は以上でございます。

(西倉剛 教育長) そのようなスケジュールで進めてまいりたいと思いますので、ご理解をいただき、さらに様々な御意見を頂戴できればと思います。今後もまた検討していきますので、よろしくお願いいたします。

日程第5 報告事項

(西倉剛 教育長) 続きまして、「日程第5 報告事項」です。本日予定されている報告事項は5件でございます。それでは、各報告事項について、説明をお願いします。

(小田川史明 教育総務部長) 報告事項1につきましては、会期及び市長提出議案等については清水教育総務部次長より、また市政に対する一般質問につきましては両部部長より、報告事項2につきましては、角田 生涯学習課長より、報告事項3につきましては、柳川 スポーツ振興課長より、ご説明申し上げます。

○報告事項1 令和4年上尾市議会12月定例会について

(清水千絵 教育総務部次長) 報告事項の1ページをお願いいたします。「報告事項1 令和4年上尾市議会12月定例会について」でございます。会期は、令和4年12月5日から令和4年12月23日までの19日間ございました。

市長提出議案のうち教育関連議案についてご報告いたします。議案第78号「令和4年度上尾市一般会計補正予算(第11号)」につきましては、全会一致により原案のとおり可決されております。内容につきましては、11月定例会でご説明いたしました補正予算と繰越明許費補正、14項目の債務負担行為補正となります。議案第94号「令和4年度上尾市一般会計補正予算(第12号)」につきましても、全会一致により原案のとおり可決されました。12月定例会でご説明いたしました(仮称)新図書館複合施設建設工事における空調換気設備工事の契約解除に伴う損害賠償について、判決の確定に伴い、必要となる経費を追加議案として計上したものでございます。議案第91号「公の施設の指定管理者の指定」につきましても、全会一致により原案のとおり可決されました。こちらは、上尾市民体育館と上尾市平塚サッカー場の指定管理者として上尾スポーツパートナーズを指定するものでございます。

次に、議員提出議案のうち教育関連議案についてご報告いたします。議案第24号「学校給食の無償化を求める意見」につきましては、全会一致により原案のとおり可決されました。

続きまして、請願第20号「学校給食における低アレルゲン献立の取り組みを求める請願」につきましては、全会一致により原案のとおり採択されました。続きまして、市政に対する一般質問の内容

につきましては、両部長からご説明いたします。

(小田川史明 教育総務部長) 別冊の「令和4年上尾市議会12月定例会 市政に対する一般質問答弁要旨」をお願いいたします。教育総務部関連では、8人から質問がありました。

まず、尾花瑛仁議員から、1ページの「将来都市像にむけた広域・エリア別施策」についての中の上から5番目の●ですが、水上公園跡地利用のほか、運動公園周辺整備の整備対象としているエリアと市の提案との違いはどの質問がありました。本市の7月の提案では、国道17号線で分断された運動公園の東西が、スロープ型歩道橋で繋がることを前提として、ランニングコース及びランニングステーションの整備を行いたいとしたものでございます。公表されている埼玉県スポーツ科学拠点施設の整備に関するサウンディング調査の概要では、整備対象範囲は、原則、上尾運動公園の国道17号線の東側とされていると答弁しました。

続いて、浦和三郎議員から、2ページの「景観保護について」の中の3ページの一番下の●ですが、樹木の維持管理マニュアルを策定することが必要ではないかとの質問がありました。学校敷地内の樹木については、児童生徒が実際に触れ、観察する学びとして、必要なものと考えており、また、地球温暖化の軽減という観点からも、重要な役割を果たしているものと認識している。学校の樹木の維持管理に当たっては、それぞれの状況に合った対応が必要で、画一的なマニュアルを定めることが困難なことから、学校毎の環境に応じた適切な維持管理に努めると答弁しました。

続いて、鈴木茂議員から、7ページの「児童・生徒の学習支援と居場所造りについて」の中の上から3番目の●ですが、上尾市の放課後子供教室の内容を教えてくださいとの質問がありました。2教室とも、学校給食のある火曜日と木曜日に実施しており、内容といたしましては、各自で宿題や読書を行うほか、地域で活動している個人・団体の方々に講師として、工作やスポーツ等の体験教室を行っていることと答弁しました。

続いて、海老原直矢議員から、12ページの「まちづくりについて」の中の一番上の●ですが、平和都市宣言を行っていることに鑑み、図書館での平和に関するテーマ展示を実施すべきであると考えが見解はどの質問がありました。上尾市図書館で行っているテーマ展示においては、今後も、平和に関するものを含め、適宜検討していくことと答弁しました。

続いて、井上茂議員から、12ページの「水上公園について」の中の上から3番目の●ですが、市が提出した提言への県の見解についてと質問がありました。本市が7月に埼玉県へ提出した提案について、今年度末に策定される基本計画書にどのように記載されるか、現在、注視している状況であると答弁しました。

続いて、荒川昌佑議員から、15ページの「学校施設更新計画について」の中の16ページの一番上の●ですが、教育的観点を主眼に置いて検討したということだが、教育長は教育的観点をどのように捉え、計画に反映する考えか。また、本計画における市長、教育長の立場と責任の所在について、との質問がありました。教育長より、次代を担う子供たちの学びを第一に考え、「持続可能な教育環境づくり」をコンセプトに、「新しい時代の学びにふさわしい学校づくり」として、安心・安全で、新しい学びに対応し、地域に開かれた快適な学校を目指した計画に見直す考えであること。また、教育長から、上尾市教育委員会の代表として、市長とともに、現在だけでなく将来に向かって、学校施設を設置、管理する立場で、職責を果たしてまいり所存であると答弁がありました。

続いて、池田達生議員から、18ページの「上尾市学校施設更新計画基本計画の見直しは、市民の意見を良く聞いて判断を」の中の22ページ上から3つ目の●ですが、市長の見解に関する質問がありました。市長より、基本計画の見直しに当たり、私は、市民の意見を反映した計画とすることが大切なことと考えており、見直し案の作成に際しても、アンケートやワークショップなどで聴取

した意見を踏まえた計画とするよう、職員にも指示したところである。今後についても、パブリックコメントや地域公聴会等で、改めて幅広く意見を聴取した上で、見直しを進めていく考えである、と答弁がありました。

続いて、小川明仁議員から、25ページの「スポーツとまちづくり」の中の上から1つ目の●になりますが、「スポーツ健康都市宣言」の目指すべき方向性と目標について質問がありました。市長より、私は、本年4月1日に「スポーツ健康都市宣言」をさせていただいた。スポーツを「する」ことだけに留まらず、「みる」ことや「ささえる」ことを含めることで、市民の皆様、誰もが様々なかたちでスポーツに親しみ、心身ともに健康で、いきいきと元気に暮らしていけるまちづくりを目指したものである。今年度は、宣言に伴い、趣旨を踏まえた新規事業を実施したが、次年度以降も、スポーツや健康づくりに関する事業を更に充実させて参りたいと考えていると答弁がありました。

教育総務部関連は以上でございます。

(太田光登 学校教育部長) 学校教育部関連では、11人の議員から質問がありました。抜粋して報告いたします。

まず、尾花瑛仁議員から、1ページの一番下の●ですが、松野内閣官房長官が拉致問題に関する学習の視察で、東中学校を来訪された経緯について質問がありました。松野内閣官房長官は、内閣官房拉致問題対策本部が実施する「拉致問題に関する教員等研修会」において、授業実践発表を行った東中学校の教諭による授業を参観された旨を答弁しました。

続いて、鈴木茂議員から、7ページの上から一つ目の●ですが、上尾市における部活動の地域移行のグランドデザインについて質問がありました。上尾市における部活動の地域移行は、土日の部活動を学校単位から、地域単位に変えていくことで、将来にわたって、子供たちがスポーツ、文化芸術活動に継続して取り組む機会を確保するとともに、「地域の子供は、学校を含めた地域で育てる。」という認識の下、生徒の望ましい成長を、学校と地域が一体となって支えていくべきものと考えている旨を、教育長が答弁しました。

続いて、海老原直矢議員から、10ページの上から一番上の●ですが、学校給食の献立の低アレルギー化について質問がありました。学校給食における低アレルギー化は、食物アレルギーのある子供たちの心理的な負担を軽減するためにも必要なことと考えており、本市では、平成20年からナッツ類の使用中止から始まり、これまでに少しずつ低アレルギー化を進めてきた旨を答弁しました。

続いて、小池佑弥議員から、13ページの上から3つ目の●ですが、子どもの見守りにおけるICT活用及び位置情報の活用について質問がありました。ICTを活用した見守りシステムは、校門の通過時刻や位置情報を確認できるなど、児童生徒の安全確保につながることから、調査研究していく旨を答弁しました。

続いて、井上智則議員から、13ページの下から2つ目の●ですが、ICT端末活用で見えてきた利点と課題について質問がありました。利点としては、児童生徒が自分に合ったペースで学習することにより、主体的に活動に取り組んだり、互いの考えを視覚的に共有することにより、話し合いが深まり、新たな考えに気付いたりすること、課題としては、学校と家庭が連携した児童生徒の情報モラルの育成や教員のICT活用スキルの向上、ICT端末を効果的に活用した授業の充実である旨を答弁しました。

続いて、荒川昌佑議員から、14ページの下から3つ目の●ですが、給食における新型コロナウイルス対策の通知について質問がありました。本市では、「新型コロナウイルスの感染が落ち着いている状況」とは言えないことから、座席配置は「前向き」を基本とし、「会話をする場合には飛沫が飛ばないように小さな声で話すこと」を、12月7日付けで各小・中学校に通知したことを答弁しまし

た。

続いて、矢口豊人議員から、17ページの下から2つ目の●ですが、英語教育を軸に、国際教育により力を入れるべきと感じるが教育長の見解はとの質問がありました。グローバル化が急速に進展する中で、外国語によるコミュニケーション能力は、生涯にわたる様々な場面で必要とされることが想定され、学校における外国語教育は、これまで以上に重要になり、こうしたことを受け、本市では、外国語教育についての教育課程特例校の指定を受けたり、「上尾市英語力向上プラン」を策定したりするなど、外国語教育の充実を図っており、今後も、外国語教育の充実を図りながら、異文化理解、多文化共生の視点に立った国際教育を推進することを教育長が答弁しました。

続いて、秋山かほる議員から、18ページの上から4つ目の●ですが、予算を確保してインクルーシブ教育推進の人材を拡充すべきと考えるが、市長の見解はという質問がありました。インクルーシブ教育の推進については、障害の有無にかかわらず、共に学び、共に暮らしていく共生社会の形成のためにも、重要なことであると認識しており、今後も、その推進に向けて、必要かつ適切な環境整備に努めていく旨を、市長が答弁しました。

続いて、新藤孝子議員から、18ページの下から2つ目の●ですが、学校では、マスク着用に関してどんな対応をしているのか質問がありました。これまでどおり、登下校や屋外の運動場に限らず体育の授業の際などの運動時は、マスクを外すこととしているが、マスクの着脱のいずれも強制することのないよう十分配慮した対応をしている旨を答弁しました。

続いて、池田達生議員から、21ページの上から3つ目の●ですが、小規模特認校制度の運用について、上尾市でも導入を計画するのか質問がありました。現時点で、特認校制度を活用することは検討していないが、すでに実施している特認校の状況を把握していくことを答弁しました。

続いて、平田通子議員から、24ページの一番上の●ですが、いじめ、不登校の相談体制の強化について市長の見解を求める質問がありました。いじめや不登校などの相談について、相談者のニーズに寄り添うことは重要なことと認識をしており、児童生徒や保護者が校内で相談できる体制は、相談件数の増加の状況などを踏まえて、適切な整備について検討してまいりたいと、市長が答弁しました。

そのほかの質問につきましては、答弁要旨資料をご覧ください。学校教育部からは以上でございます。

○報告事項2 令和5年上尾市二十歳のつどいの結果について

(角田広高 生涯学習課長) 報告事項2ページをお願いします。「報告事項2 令和5年上尾市二十歳のつどいの結果について」でございます。まず教育委員の皆様には、式当日はご出席をいただきまして、ありがとうございました。民法改正に伴う成年年齢の引き下げにより、今年から式典の名称を「成人式」から「二十歳のつどい」に改めましたが、「令和5年上尾市二十歳のつどい」は、1月8日の日曜日に上尾市文化センターで行い、天候にも恵まれ、滞りなく実施することができました。

結果につきましては記載のとおりでございますが、今年も新型コロナウイルス感染拡大防止のため、式典を3回に分けて実施するとともに、大ホールでの式典の模様を配信・投影するため、小ホールをサテライト会場としました。また、出席しなかった人を対象に、動画配信サイトで式典の模様をオンライン中継しました。各回ともアトラクションと式典の2部構成で実施し、対象者2,295人のうち、入場者数は1,616人、出席率は70.4%でございました。また、オンライン配信の延べ視聴回数は1,227回でございました。説明は以上でございます。

○報告事項3 第41回上尾市民駅伝競走大会の開催について

(柳川忠明 スポーツ振興課長) 報告事項3ページをお願いします。「報告事項3 第41回上尾市民

駅伝競走大会の開催について」でございます。主催は、上尾市・上尾市教育委員会・上尾市スポーツ協会・上尾市PTA連合会の共催で、上尾市陸上競技協会の協力により開催いたします。期日は、令和5年2月12日の日曜日、雨天や小雪でも開催しますが、積雪や雷雨の恐れがある場合は、参加者の安全を考え中止といたします。開会式は、午前8時40分を予定しておりますので、教育委員の皆様にもご参列いただければ幸いです。会場につきましては、中学生、一般、スポーツ協会支部の5種目が、上尾運動公園陸上競技場及び競技場周辺コースとなります。小学生につきましては公道には出ず、公園内でのコースとなります。また、招待チームとしまして、福島県本宮市から小学生男子2チーム、中学生男子2チームが出場予定でございます。詳細につきましては、4ページ以降に開催要項及びコース図を添付しておりますので、ご参照ください。説明は以上でございます。

(太田光登 学校教育部長) 報告事項4につきましては、田中 学務課長より、報告事項5につきましては、瀧澤 指導課長より、ご説明申し上げます。

○報告事項4 令和4年度上尾市立小・中学校卒業証書授与式について

(田中栄次郎 学務課長) 報告事項11ページをお願いします。「報告事項4 令和4年度上尾市立小・中学校卒業証書授与式について」でございます。資料記載の期日で、上尾市立小・中学校の卒業証書授与式が行われます。なお、告辞につきましては、後日、正式な依頼文を教育委員の皆様にお届けいたします。説明は以上でございます。

○報告事項5 令和4年12月 いじめに関する状況について

(瀧澤誠 指導課長) 「報告事項5 令和4年12月 いじめに関する状況について」でございます。報告事項13ページが小学校、14ページが中学校の状況となっております。12月のいじめの認知件数は、小学校88件、中学校11件でございます。解消につきましては、小学校123件、中学校4件となっております。解消に向けて取組中となっているものが、今回の新規を合わせて小学校408件、中学校80件となっております。説明は以上でございます。

(太田光登 学校教育部長) 報告は以上でございます。よろしく願いいたします。

(西倉剛 教育長) ありがとうございます。各報告事項について説明をいただきました。委員の皆様の方でご質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。

(矢野誠二 委員) 直接今回の報告事項の中にはありませんでしたが、原市中学校で、部活動の移行の一環かと思われませんが、埼玉上尾メディックスと連携してバレーボールの指導をされると耳にしましたが、そのことについて伺います。

(瀧澤誠 指導課長) 埼玉上尾メディックスと連携したモデル事業につきましては、1月19日に発表もされましたが、埼玉県スポーツ振興課と埼玉上尾メディックスと連携して部活動の地域移行に係るテストケースとして成果や課題を検証していくことを目的に実施するものでございます。内容は、部員数25人の原市中学校の男子バレーボール部をモデルチームとして、1月から3月の休日の活動において合計9回にわたり、埼玉上尾メディックスの現在スカウトでいらっしゃる石原昭久さんから御指導をいただくものです。石原さんは、過去にVリーグのイトーヨーカドーや現在のJTの監督経験があり、優勝経験をお持ちの方で、非常に指導力のある方であると紹介をいただき、この事業となり

ました。1月21日に第1回目の指導が始まりましたが、石原さんは現在行われている部活動の練習を見ながら、生徒と徐々に関わっていくということで、今後の道筋をつけていくような話をいただきました。限られた時間ではありましたが、練習後の生徒の感想として、「めっちゃ楽しかったです。」という反応でした。今後の期待感が持てるスタートでした。次回は具体的に目標を設定して、活動を進めていくというところがございます。

(谷島大 委員) 市議会一般質問に関連して、2点伺います。1点目は、小池議員から質問のありました見守り活動について、このボランティアの方や青色防犯パトロールカーの登録者の方の高齢化により減少傾向になっているという答弁がありました。これはおそらく市内全体でも当てはまることではないかと思えます。これらの活動は、子供達の交通安全確保ということだけに留まらず、子供達と地域のコミュニケーションとして、また、犯罪全体の抑止効果ということとして、今後も継続できることが望ましいと思えます。今後の人員確保については、行政や学校からの働きかけなどもあってもよいのではないかと感じましたので、意見として申し上げます。

2点目は、複数の議員から質問がありました不登校の問題に関連してですが、先日、教育センターで、学校適応指導教室の学習発表を見させていただく機会をいただきまして、初めて実際に教室で行われている活動や児童生徒の作品などについて、そこを利用している生徒がそれを説明してくれるという機会をいただきました。適応指導教室の活動内容がよくわかり、現在増加している不登校の子供達に少しでも多くこの教室を利用してほしいと感じましたので感想として申し上げます。そして、今回の発表を見て改めて感じたこととしましては、教育委員会においていろいろな問題について資料や説明などをいただきますが、実際に現場を見せていただくことで、深く理解できることが多いなということを感じました。コロナ禍で難しい部分もあると思えますが、今後も様々な分野でこのような機会を提供していただければと思えますので要望として申し上げます。

(内田みどり 委員) 二十歳の集いに関する結果の報告がございました。その出席率は全体的に7割ほどに昨年度と比べて多くなってきていてよかったと思えます。コロナ禍前の出席率と比べて、今回の出席率はどのように推移しているのか伺います。

(角田広高 生涯学習課長) 昨年に3部制で開催した際の平均の出席率は67.6%でした。その前のコロナ禍前の状況でございますが、令和2年に行いました成人式につきましては70.9%で、その前の平成31年が72.2%でした。これまで7割前後ということなので出席率は回復してきたというように感想を持っております。

(内田みどり 委員) コロナを意識して参加者が少なくなるかなということも心配しましたが、この3部制で実施したということはとてもよかったと思えます。意見として申し上げます。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 市議会の答弁に関して3点ほど、1点は意見、2点は確認させていただきたいと思えます。まず先ほどお話がありました部活動の地域移行については、鈴木議員からも質問がありましたが、それに対して、埼玉上尾メディックスに協力いただいたということで、本当に素晴らしいことだと思っております。埼玉上尾メディックスには感謝を申し上げたいと思えます。ただ、こちらの答弁の中で、地域移行に関して、庁内の関係課で構成した部活動地域移行調整会議と部活動地域移行検討会議を2回ずつ開催していると記載があります。埼玉上尾メディックスにはお声がけしているのかもしれませんが、埼玉上尾メディックスは特別かなということで、それ以外の市内のスポ

一ツ団体等にはまだ声は掛けておらず、庁内だけで検討していると答弁をされています。やはり今回の地域移行に関しては、地域との連携というのが本当に大切に必須だと思っております。庁内だけで考えていて、実際に地域に協力を求めたときに、地域の協力が得られないというような状況にもなりかねないということもありますので、是非とも3月までに方針を確定して、4月には地域の方を含めた協議会を設置するというように書いてありますが、本来であればこの方針案の時から、地域に声を掛けていくべきではなかったのかなと感じました。今回の地域移行は、教員の働き方改革に大きく影響してきますので、各学校、各教員も大きく期待しているところもあると思います。逆にこれがうまくいかなかったときの落胆も大きいかなと思っていますので、できるだけ早い段階での実施できるような形で進めていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。1点目は意見です。

答弁要旨資料の11ページの海老原議員からの質問の答弁の中に、オンラインを活用した体験活動というのがありまして、その中に南極大陸と教室とを繋いだという説明がありますが、これはどのような事業で、どのような繋がりで開催されたのか伺います。

(瀧澤誠 指導課長) 南極越冬隊の方々の特に関理師の方とオンラインで小学校と繋いで交流を行った学校がございます。これは、校長の知り合いの方を通じて知り合うきっかけがありまして、学校の方で独自にネットワークをつないで実施しました。他にもオーストラリアの大学に勤務して指導されている日本人の方ともオンラインで交流を実施している学校がございます。

(大塚崇行 教育長職務代理者) 3点目は、答弁要旨資料の23ページの平田議員に対する答弁の中で、教育センターの夜間や土日の相談体制について、24時間受付可能なメール相談があると答弁があります。メールというのはいつでも受け取れるので、受け付けは可能かと思いますが、例えば土日、祝日や深夜などにメールがあった場合の対応について伺います。

(瀧澤誠 指導課長) こちらにつきましては24時間受付が可能となっております。受け付けた場合はその回答について検討しますので、すぐに回答するということではございません。受付が可能であるということです。

(西倉剛 教育長) よろしいでしょうか。

~委員全員から「はい」の声~

日程第6 今後の日程報告

(西倉剛 教育長) それでは続きまして「日程第6 今後の日程報告」をお願いします。

(池田直隆 教育総務課長) それでは教育委員の当面の日程のご用意をお願いいたします。次回の会議は、2月9日木曜日の午後6時からに臨時会を予定しております。2月の定例会は、2月21日火曜日の午前9時30分から教育委員室で予定してございます。

(西倉剛 教育長) 委員の皆様から全体を通してのご意見やご質問等があれば承りますが、いかがでしょうか。

(西倉剛 教育長) よろしいでしょうか。

～委員全員から「はい」の声～

日程第7 閉会の宣告

(西倉剛 教育長) それでは、以上で本日予定されておりました日程は全て終了いたしました。これを持ちまして、上尾市教育委員会1月定例会を閉会といたします。お疲れ様でした。

令和5年2月21日 署名委員 矢野 誠二